



中西 顕治

教育条件の整備

問 来年度のクラス編成の見通しは。

答 現時点では、府の加配教員等を活用し、全年複数クラスで対応できる予定で、諸手続を進めている。

問 町独自に少人数学級へ対応する必要があるのではないか。

答 教員の数が多ければ、子どもたちをより細やかに見ることができるとは。しかし、町独自の教諭の雇用は無理だと判断している。能勢町ではどの学年もこれから40人学級、あるいは35人学級のぎりぎりのところにあることを承知おきいただきたい。

一、教育条件の整備
二、新型コロナ対策



な方に必要な支援を届ける方策について検討している。

問 本町の持つ問題の解消のためにも少人数学級の拡充要望を、現場からも出せないか。

答 国、内外に向かって要望していく。

新型コロナ対策

問 来年度の新型コロナ対策の状況は。

答 国保の被保険者への支援金を、昨年同様、被保険者1人当たり1万円を計上している。また、地方創生臨時交付金（一億円弱）が来年度に予定されている。必要

問 国民健康保険税減免、介護保険料減免について、厚生労働省から通知が出ていると聞いている。

答 通知が発出されたという情報は得ている。柔軟に対応する。

問 住民税などの減免要望もあるが、対応は。

答 地方創生臨時交付金を活用し、住民の負担を軽減する措置を考える。



一般質問



岡本 ひとし

小中一貫校としての評価

問 開校から5年間で培ってきた課題整理が必要ではないか。

答 コミュニティ・スクールの導入、あるいは福祉と教育の連携、協働、専門的なスタッフも含めたチーム学校として対応、人権、多様性教育の充実など、学びに向かうための教育条件を整えることができつつある。

問 デメリットの改善策について問う。

答 小学校卒業という達成感が得にくい、中学校入学による新鮮さが得にくいといったところがある。義務教育9年間の4・2・3という指導区分の中で、学校行事

義務教育学校への移行

の在り方を工夫していくことにより解消できるものも考える。

問 小学校における教科担任制について問う。

答 多くの教員が児童生徒と関わりを持てることや、小学校の教員が受け持つ教科に専念でき、より集中して教材研究等に取り組むことができる。

問 義務教育学校への移行に合わせ小中学校の教員の理解も得ながら準備を進めていきたい。

答 6小2中が同一敷地内での学校再編したことはよかったのか見解を問う。

大勢の子どもたちの中で一緒に暮らすことは大変大きなことだと思えます。

問 学校と地域のつながりが希薄化しているのではないかと問う。

答 町全体が校区となり、学校に対する親近感というか、薄くなっていることは否めないと思われる。ただ、旧校の時代から、学校のためなら何とかしてやろうという方々が多くいることも認識している。信頼される学校をめざしていきたい。

